



平成 30 年 11 月 14 日

各 位

東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号
株式会社クロス・マーケティンググループ
代表取締役社長兼 CEO 五十嵐 幹
(コード番号：3675 東証第一部)
問合せ先 取締役 CFO 小野塚 浩二
(TEL. 03-6859-2250)

特別利益の計上及び平成 30 年 12 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 12 月期第 3 四半期において、関連会社の第三者割当増資の実施に伴う持分変動利益(特別利益)を計上するとともに、最近の業績動向などを踏まえ、平成 30 年 2 月 14 日に公表いたしました平成 30 年 12 月期通期(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上

当社の関連会社である株式会社 UNCOVERTRUTH において実施した第三者割当増資を実施したことにより、持分変動利益 165 百万円を平成 30 年 12 月期第 3 四半期の連結決算において特別利益として計上いたしました。

2. 平成 30 年 12 月期通期連結業績予想の修正 (平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益 (△:当期純損失)	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,614	1,250	1,172	600	30.72
今回修正予想 (B)	17,500	900	850	500	25.58
増減額(B-A)	△1,114	△350	△322	△100	—
増減率(%)	△6.0	△28.0	△27.5	△16.7	—
(参考)前期実績 (平成 29 年 12 月期)	16,758	727	597	△703	△36.00

(通期連結業績予想の修正の理由)

通期における売上高は、国内リサーチ事業においては、前期から進めてきた生産性の向上を着実に実行し、売上・利益の改善を進めてまいりましたが、生産性の改善及び更なる成長へ向けた営業組織体制の強化等が業績面へ反映されるのに一定期間を要しており、当初想定を 896 百万円下回る売上高となる見込み(前年同期比 2.7%増見込み)であります。

海外リサーチ事業については、大型案件の受注が通期に渡って寄与している Kadence グループが牽引し、当初予想を 20 百万円上回る売上高進捗(前年同期比 0.7%増見込み)となっておりますが、リサーチ事業全体としては、前回発表予想を 876 百万円下回る見通し(前年同期比 2.0%増見込み)となりました。同事業の利益については、売上高が前回発表予想を下回る見込みとなった事に加え、国内外において大型案

件を受注していることに伴う外注費の増加の影響等もあり、営業利益以下、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

ITソリューション事業及びその他の事業については、人員採用や事業環境の変化への対応等により当該2つの事業合計で当初の想定を238百万円下回る売上高となる見込み(前年同期比17.2%増見込み)であります。

特別利益については、上記の状況と合わせて、「1. 特別利益の計上」に記載しております株式会社UNCOVERTRUTHの第三者割当増資の実施により持分変動利益165百万円が寄与しております。

結果として、売上高は17,500百万円(前回発表予想比1,114百万円減)、営業利益900百万円(前回発表予想比350百万円減)、経常利益850百万円(前回発表予想比322百万円減)、当期純利益500百万円(前回発表予想比100百万円減)を見込んでおります。

※上記の予想は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、季節要因等を反映して作成しており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上